

年 度

年度

工事番号 第

号

工 事 名

---

住 所

商号又は名称

代表者氏名



調査対象工事に関連する手持工事の状況

工 事 名	発注者	工 期	請負代金の額	現場代理人	備考
				監理技術者等の技術者区分	

- ※ 入札参加時の手持工事（和歌山県内）を全て記入してください。
- ※ 元請又は下請の施工区分については、備考欄に記入してください。
- ※ 現場代理人については上段に、監理技術者等の技術者区分（主任技術者、監理技術者、専任特例1号主任技術者、専任特例1号監理技術者、専任特例2号監理技術者、監理技術者補佐）については下段に記入してください。

過去に施工した公共工事名及び発注者

発注者名	工事名	工期	請負代金額	備考

※ 過去3か年程度の**元請工事の施工実績**を記入してください。（同工種を優先して記入してください。）

※ 記載した工事のうち、低入札実績の案件については、**備考欄**に◎印を記入してください。

労務者の確保計画

1 自社施工

工 種	職 種	単価(A)	員数(B)	合計額(A)×(B)
			合計(C)	

2-1 下請業者施工 【 】

工 種	職 種	単価(A)	員数(B)	合計額(A)×(B)
			合計(D)	

2-2 下請業者施工 【 】

工 種	職 種	単価(A)	員数(B)	合計額(A)×(B)
			合計(D)	

2-3 下請業者施工 【 】

工 種	職 種	単価(A)	員数(B)	合計額(A)×(B)
			合計(D)	

2-4 下請業者施工 【 】

工 種	職 種	単価(A)	員数(B)	合計額(A)×(B)
			合計(D)	

2-5 下請業者施工 【 】

工 種	職 種	単価(A)	員数(B)	合計額(A)×(B)
			合計(D)	

☆ 【 】には、下請予定業者名を記入し、下請業者ごとに記入してください。  
 ☆労務単価(A)には、自社施工は自社単価、下請業者施工はそれぞれ各下請業者から聴取した金額を記入してください。  
 ☆員数(B)には、工程表等により下請業者との打合せに基づいたものを記入してください。

下請予定業者届出書

工 事 内 容	下請予定業者名	主たる営業所の所在地	下請予定金額	下請業者として選定した理由

☆ 主たる営業所の所在地に欄には、『市内』、『県内』、『県外』を記入してください。

☆ 下請予定金額は別記様式第6号の各下請施工業者の合計（D）を反映した金額とすること。

☆ 下請契約の予定時期において、和歌山市企業局の指名停止期間中である業者（作成時点で公表中の者）は選定しないこと。

※『県内』、『県外』の業者と下請契約する場合は、施工体制台帳提出時に、『市内』の業者と下請契約できない理由を明記した調達調書の提出が必要となります。

調査対象工事に使用する手持資材の状況

品名	規格・形式	単位	手持数量	本工事での使用数量	不足数量の手当方法	備考

※ 手持資材の状況は、当該工事で使用予定の資材を記入してください。

資材購入先一覧

工 事 種 別	品 名 規 格	単 位	数 量	購 入 先		購入先として選定 した理由
				業者名	所在地	

☆購入先の所在地の欄には、『市内』、『県内』、『県外』を記入してください。

※『県内』、『県外』で購入する場合は、工事材料承諾願提出時に、『市内』の業者で  
調達できない理由を明記した調達調書の提出が必要となります。



配置予定技術者等名簿

区 分	氏 名	資 格 種 別	取 得 年 月 日	免許番号又は 交付番号

- ※1 区分欄には、監理技術者、専任特例1号主任技術者、専任特例1号監理技術者、専任特例2号監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者、推進工事技士、現場代理人、専門技術者を適宜記入してください。
- ※2 資格種別には、一級土木施工管理技士、二級土木施工管理技士等の資格名を記入してください。
- ※3 資格者については、資格を確認するために合格証明書等の写しを添付してください。
- ※4 雇用関係を確認するために、健康保険証等の写しを添付してください。
- ※5 配置予定技術者が監理技術者の場合には、監理技術者資格者証の表・裏の写しを添付してください。

調査対象工事に使用する手持機械の状況

機 械 名 称	規格・形式・能力・年式	単 位	数 量	メーカー名	現在の利用状況

※ 手持機械の状況は、当該工事で使用予定の機械を記入してください。

建設副産物の搬出地

種 類	搬 出 先	受け入れ価格

※ 搬出先の見積書（原本）は、積算内訳書に添付して提出してください。

※ 当該工事から発生するすべての建設副産物について、記入してください。